



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社デイ・シイ

コード番号 5234 URL <http://www.dccorp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 紀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 仁田峠 宏司

TEL 044-223-4751

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,657	8.9	1,100	—	1,407	208.8	801	90.4
23年3月期第3四半期	27,228	△11.8	87	△88.2	455	△57.0	421	△23.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 480百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △42百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	23.21	—
23年3月期第3四半期	12.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	43,499	17,416	39.7
23年3月期	42,710	17,104	39.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 17,276百万円 23年3月期 16,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	2.00	—		
24年3月期(予想)				3.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	8.8	1,100	—	1,400	303.2	800	851.8	23.17

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	34,587,433 株	23年3月期	34,587,433 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	59,349 株	23年3月期	72,697 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	34,526,797 株	23年3月期3Q	34,491,270 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響が続く中、長引く円高や株価の低迷、更には欧州の金融問題を発端とした海外経済の先行き不安など、不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、首都圏での再開発工事が堅調に推移し、おおむね回復基調となりました。

このような状況の下、当社グループといたしましては、「関東における建設基礎資材総合サプライヤーの地位の確立」を目指すべきグループ像とする、中期経営計画（12デイ・シイグループ中計）の達成に向け、企業価値の向上のために取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は29,657百万円と前年同期と比べ2,428百万円の増収、営業利益は1,100百万円と前年同期と比べ1,012百万円の増益、経常利益は1,407百万円と前年同期と比べ951百万円の増益、四半期純利益801百万円と前年同期と比べ380百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①セメント関連事業

当事業におきましては、需要環境の改善が続くとともに、営業面では営業力の強化を図り、販売数量の増加と収益の確保に取り組みました。また、川崎工場においてセメント製造設備の老朽化対策工事を実施し安定運転に注力いたしました。この結果、売上高は7,891百万円と前年同期と比べ200百万円の増収、セグメント利益は579百万円と前年同期と比べ478百万円の増益となりました。

②骨材事業

当事業におきましては、主力市場における需要が回復基調で推移したことにより、生コンクリート用骨材の販売数量が前年同期と比べ増加いたしました。また、販売面において流通の見直し等によるコスト削減を図るとともに、生産面についても燃料費の削減など製造原価の低減に努め、収益の確保に注力しました。この結果、売上高は6,719百万円と前年同期と比べ35百万円の増収となり、セグメント利益は130百万円と前年同期と比べ19百万円の増益となりました。

③環境リサイクル事業

当事業におきましては、収集力の強化を図り、建設発生土及び可燃性廃棄物の確保に鋭意努めました。この結果、売上高は3,557百万円と前年同期と比べ1,130百万円の増収となり、セグメント利益は443百万円と前年同期と比べ246百万円の増益となりました。

④不動産賃貸事業

当事業におきましては、不動産の有効活用に取り組むとともに収益の確保に努めてまいりましたが、不動産需要および市況の低迷が続く、売上高は554百万円と前年同期と比べ9百万円の減収となり、セグメント利益は265百万円と前年同期と比べ20百万円の減益となりました。

⑤生コンクリート事業

当事業におきましては、主力市場における再開発工事や住宅着工の建設需要が回復基調で推移したことにより、販売数量が増加したことに加え、より一層の原価の低減に努めました。この結果、売上高は8,533百万円と前年同期と比べ1,003百万円の増収となり、セグメント損失は141百万円と前年同期と比べ305百万円改善いたしました。

⑥管路事業

当事業におきましては、コスト削減を図るなど利益の確保に努めましたものの、建設投資等の減少による需要規模の縮小により販売数量が減少しました。この結果、売上高は1,386百万円と前年同期と比べ140百万円の減収となり、セグメント利益は239百万円と前年同期と比べ17百万円の減益となりました。

⑦その他

その他におきましては、コンクリート二次製品事業において生産体制の見直し等コスト削減に取り組まれました。この結果、売上高は1,014百万円と前年同期と比べ208百万円の増収となり、セグメント損失は3百万円と前年同期と比べ22百万円改善いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ789百万円増加し43,499百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2,224百万円及び投資有価証券の減少730百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ477百万円増加し26,082百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加669百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ311百万円増加し17,416百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益801百万円、その他有価証券評価差額金の減少332百万円及び剰余金の配当172百万円であります。

②キャッシュフローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ152百万円減少し、1,545百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,059百万円（前年同期比38.0%増）であります。

その主なものは、減価償却費1,791百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,271百万円（同11.5%増）であります。

その主なものは、有形固定資産の取得による支出1,231百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、931百万円（同151.3%増）であります。

その主なものは、借入金の純減額633百万円及び配当金の支払額166百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月10日に公表いたしました通期連結業績予想の見直しを行っております。詳細につきましては、平成24年2月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697	1,545
受取手形及び売掛金	7,607	9,831
商品及び製品	928	899
仕掛品	6	6
原材料及び貯蔵品	1,119	1,157
その他	701	558
貸倒引当金	△62	△61
流動資産合計	11,999	13,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,017	6,810
機械装置及び運搬具（純額）	5,114	4,729
土地	10,295	10,299
リース資産（純額）	379	505
建設仮勘定	118	321
その他（純額）	115	91
有形固定資産合計	23,041	22,757
無形固定資産		
のれん	403	324
その他	2,318	2,220
無形固定資産合計	2,721	2,544
投資その他の資産		
投資有価証券	3,670	2,940
その他	1,299	1,339
貸倒引当金	△22	△20
投資その他の資産合計	4,948	4,259
固定資産合計	30,710	29,561
資産合計	42,710	43,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,177	5,846
短期借入金	5,880	6,124
未払法人税等	49	468
引当金	101	141
その他	2,489	3,137
流動負債合計	13,697	15,719
固定負債		
長期借入金	6,915	6,037
退職給付引当金	1,492	1,503
その他の引当金	633	303
資産除去債務	254	275
負ののれん	771	411
その他	1,839	1,832
固定負債合計	11,907	10,363
負債合計	25,605	26,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,013	4,013
資本剰余金	5,046	5,047
利益剰余金	8,616	9,245
自己株式	△21	△17
株主資本合計	17,654	18,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	255
土地再評価差額金	△1,288	△1,267
その他の包括利益累計額合計	△699	△1,011
少数株主持分	149	140
純資産合計	17,104	17,416
負債純資産合計	42,710	43,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	27,228	29,657
売上原価	21,988	23,401
売上総利益	5,240	6,255
販売費及び一般管理費	5,152	5,155
営業利益	87	1,100
営業外収益		
受取利息	5	13
受取配当金	89	87
負ののれん償却額	359	359
その他	137	170
営業外収益合計	592	631
営業外費用		
支払利息	140	123
持分法による投資損失	18	91
その他	64	109
営業外費用合計	224	324
経常利益	455	1,407
特別利益		
固定資産売却益	22	5
投資有価証券売却益	4	0
貸倒引当金戻入額	7	—
その他	9	—
特別利益合計	42	5
特別損失		
固定資産除売却損	17	25
投資有価証券評価損	—	57
減損損失	2	66
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	107	—
その他	33	—
特別損失合計	161	148
税金等調整前四半期純利益	337	1,264
法人税、住民税及び事業税	19	467
法人税等調整額	△6	△0
法人税等合計	13	467
少数株主損益調整前四半期純利益	324	797
少数株主損失(△)	△96	△4
四半期純利益	421	801

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324	797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△358	△334
土地再評価差額金	—	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△2
その他の包括利益合計	△366	△316
四半期包括利益	△42	480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58	489
少数株主に係る四半期包括利益	△101	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	337	1,264
減価償却費	1,856	1,791
負ののれん償却額	△247	△281
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△19	10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	42	△335
受取利息及び受取配当金	△95	△101
支払利息	140	123
持分法による投資損益(△は益)	18	91
その他の引当金の増減額(△は減少)	△38	46
有形固定資産売却損益(△は益)	△22	△5
有形固定資産除却損	17	25
減損損失	2	66
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	57
為替差損益(△は益)	8	9
売上債権の増減額(△は増加)	437	△2,231
たな卸資産の増減額(△は増加)	△165	△9
その他の流動資産の増減額(△は増加)	55	22
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36	100
仕入債務の増減額(△は減少)	△791	588
その他の流動負債の増減額(△は減少)	64	576
預り保証金の増減額(△は減少)	△10	△14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	107	—
その他	46	263
小計	1,695	2,054
利息及び配当金の受取額	95	100
利息の支払額	△127	△110
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△170	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,492	2,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△721	△1,231
有形固定資産の売却による収入	32	1
無形固定資産の取得による支出	△18	△20
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	12	0
関係会社株式の取得による支出	△134	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△21	4
長期貸付けによる支出	△242	△10
長期貸付金の回収による収入	10	5
敷金及び保証金の差入による支出	△4	△14
敷金及び保証金の回収による収入	2	3
その他	△48	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,139	△1,271

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	800	400
長期借入れによる収入	372	—
長期借入金の返済による支出	△1,270	△1,033
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△201	△166
リース債務の返済による支出	△71	△97
その他	—	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370	△931
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26	△152
現金及び現金同等物の期首残高	1,783	1,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,756	1,545

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	セメント関連 事業	骨材事業	環境リサイクル 事業	不動産賃貸 事業	生コンクリート 事業	管路事業
売上高						
外部顧客への 売上高	7,691	6,683	2,427	563	7,529	1,527
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	379	961	85	46	6	5
計	8,070	7,644	2,512	610	7,536	1,533
セグメント利益 又は損失(△)	101	111	197	286	△446	256

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	計				
売上高					
外部顧客への 売上高	26,422	805	27,228	—	27,228
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,485	1	1,486	△1,486	—
計	27,907	807	28,715	△1,486	27,228
セグメント利益 又は損失(△)	506	△25	480	△24	455

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンクリート二次製品事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△5百万円及び持分法投資損失△18百万円であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	セメント関連 事業	骨材事業	環境リサイクル 事業	不動産賃貸 事業	生コンクリート 事業	管路事業
売上高						
外部顧客への 売上高	7,891	6,719	3,557	554	8,533	1,386
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	477	979	59	45	18	183
計	8,368	7,698	3,617	599	8,552	1,570
セグメント利益 又は損失 (△)	579	130	443	265	△141	239

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	計				
売上高					
外部顧客への 売上高	28,643	1,014	29,657	—	29,657
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,764	0	1,764	△1,764	—
計	30,407	1,014	31,421	△1,764	29,657
セグメント利益 又は損失 (△)	1,517	△3	1,514	△106	1,407

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンクリート二次製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去△15百万円及び持分法投資損失△91百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。